

(仮称) 史跡武田氏館跡ガイダンス施設 (総合案内所・旧堀田家住宅) 整備計画概要

1 整備目的

戦国大名武田氏と武田氏館跡の歴史と文化的価値に対する理解を深めるとともに、歴史学習の場としての活用と文化振興を促進することを目的として、史跡武田氏館跡ガイダンス施設を整備します。

2 コンセプト

- ① 史跡武田氏館跡の調査成果や特色を、わかりやすく解説します。
- ② 武田氏三代の歴史や生活文化を紹介し、甲府の魅力向上につなげます。
- ③ 来訪者を館跡や城下町に誘導し、歴史を体感していただきます。
- ④ 文化財を核とした地域活性化の拠点とします。

3 規制等 [史跡武田氏館跡総合案内所 (新設) ・旧堀田家住宅 (既存)]

- ① 史跡武田氏館跡保存管理基準
B地区 道路から約12mの幅を史跡と住宅地の緩衝地帯として保存し、景観を整える。
C地区 建物の新築・全面改築は、遺構の保護を条件に、木造・軽量鉄骨二階建以内は可。
- ② 用途地域 甲府都市計画区域(第1種中高層住居専用区域、第1種低層住居専用区域) 護国神社風致地区
※都市計画の用途地域見直しにより、施設敷地のうち約50%強が第1種中高層住居専用地域。
※敷地全体が、風致地区の範囲に含まれます。
- ③ 進捗状況 旧堀田家住宅は、既存建物の大規模修繕工事しています。
史跡武田氏館跡総合案内所は、新築が可能な保存管理計画C地区内に建設します。
B地区内は、主に緑地として整備します。
案内所敷地は、平成25・26年度に発掘調査済みで、盛土で地下を保護して新築します。
- ④ オープン予定 平成31年4月初旬(こうふ開府500年の年)を予定しています。

4 施設の機能

- ① 『ガイダンス機能』(案内)
武田氏館跡と城下町「甲府」の歴史的・文化的価値や見所についての基礎知識を身につけてもらい、現地散策へと誘導します。
- ② 『ミュージアム機能』
出土品・文化財・古文書・パネル等の展示や、武田氏と武田氏館跡に関する映像を放映します。
- ③ 『学ぶ機能』
講演会・散策会・研究会・各種ワークショップ等、学習拠点として活用します。
- ④ 『交流機能』
市民等の交流につながるイベントの開催や、賑わいの創出につながる飲食・物販を計画しています
また、史跡来訪者へ休憩スペースを提供します。

5 施設の概要

(仮称) 史跡武田氏館跡総合案内所				旧堀田家住宅 (堀田古城園)			
形態	木造平屋建物3棟新築			形態	既存木造建物群7棟		
地番	大手三丁目3721-2他			地番	大手三丁目3735-1・2		
敷地面積	約1,769㎡			敷地面積	約1,162㎡		
建物面積 (床面積)	1号棟	81.76 ㎡	エントランス	建物面積 (床面積)	4号棟	175.74 ㎡	(主屋)
	2号棟	124.22 ㎡	企画・体験		長屋棟	95.22 ㎡	
	3号棟	234.36 ㎡	常設展		離れ	86.85 ㎡	4棟
	テラス他	26.22 ㎡			門	1.51 ㎡	
	合計	466.56 ㎡			合計	359.32 ㎡	
工事期間	平成30年4月～平成31年3月(予定)			工事期間	平成29年7月～平成31年3月(予定)		

6 展示テーマ

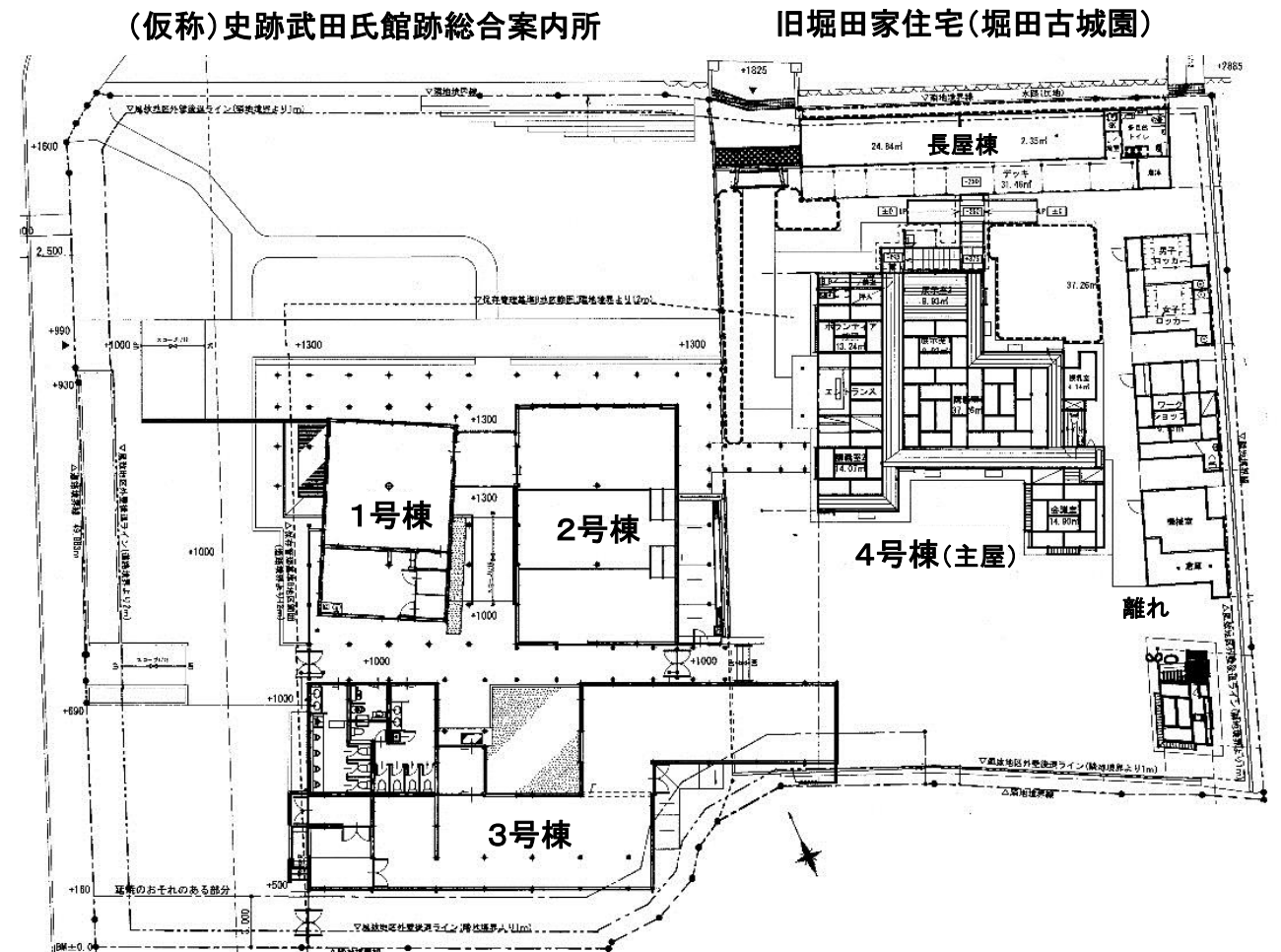
- ① 武田氏三代から現代までの史跡の歴史と移り変わりをわかりやすく展示します。
- ② 発掘調査で明らかにされた武田氏館の移り変わりや特色を解説します。
- ③ 館と城下町をつなぎ、来訪者が散策するための情報を得られる展示を目指します。

7 展示の概要

- ① 武田氏館跡と領主たちを紹介(武田氏三代と、徳川・豊臣氏の家臣たち)
 - ② 武田氏館跡の特色や築城技術(武田氏の築城術である枡形虎口や丸馬出などを紹介)
 - ③ 中世城下町「甲府」の暮らし(出土品を中心に食生活や経済活動を紹介)
 - ④ 武田氏滅亡から近代までの歴史を紹介(館から城へ。城から景勝地、そして神社創建まで)
- ※このほか、企画展示により新しい情報や研究の成果を展示していく予定です。

8 各棟の機能

- 1号棟: 総合案内・レファレンス・施設管理
- 2号棟: 史跡武田氏館跡の歴史・見所などの概要展示
- 3号棟: 史跡武田氏館跡に係る歴史資料・映像展示
- 4号棟: 講座・体験学習、休憩
長屋棟・離れ: 飲食・物販関係、茶室



(仮称) 史跡武田氏館跡ガイダンス施設